



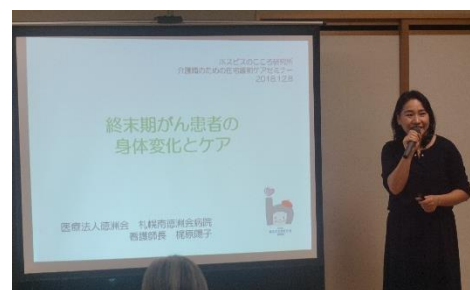
『第2回 介護職のための在宅緩和ケアセミナー』を開催

12月8日（土）、白石区民センターで『第2回介護職のための在宅緩和ケアセミナー』を開催しました。ケアマネージャーや介護福祉士、在宅ホスピスボランティアなど日々活躍している13名の皆さんにご参加いただき、講演・ワークショップの他にコミュニケーションのロールプレイや喪失の疑似体験を行いました。

第1部—講演『終末期がん患者の身体変化とケア』

第1部講演は、札幌南徳洲会病院・梶原陽子看護師長による講演です。

「終末期がん患者の身体変化と特徴」と「看取り期の支援」の2つをテーマにした講演でした。ケア提供者は末期がん患者・家族が抱える苦痛と苦悩について理解し、その人らしさを大切にすることが重要であり、何かをすることではなく“寄り添う”ことがQOL (Quality of life) の向上へ結びつくと話されました。



[主な内容]

- 終末期がん患者の身体変化において、ターミナル前期（予後数カ月）～ターミナル直前期（予後数時間）までの身体変化の中でも、ターミナル中期（予後数週間）は多くの身体変化が出現する時期であり、ADLへの影響、全人的苦痛の出現、治療方針の変更など、「多くの喪失を体験」する時期である。
- 看取り期の支援において、適切な症状コントロール、意思決定支援、心地よいケアと環境整備、安心できる関わり、自立と自律のサポート、家族支援が重要になる。これらをスピーディ且つ細やかに対応することでQOL (Quality of life) の向上へ繋がる。
- QOLを評価するのは本人であり、どんな価値観を持つ方なのかを知ることが、その人らしさを考え意思決定を支える上で重要。
- 大切なのは尊厳を守りケアにあたること。何かをすることではなく“寄り添う”ということ。
- 寄り添うには、本人・家族とのコミュニケーションが大切になる。「傾聴」「沈黙」「共にいること」「共感」などを意識することで、本人・家族の“癒し”となり得る関わりを多職種で行うことが可能になる。



介護職のための在宅緩和ケアセミナー

地域包括ケアの推進により地域での看取りはますます重要な課題となっています。在宅緩和ケアにおいても多職種との連携はとても大切です。看取りに関する知識を深め、地域で協働する仲間の輪を広げていくことを目的として、本セミナーを企画しました。

本セミナーは全3回シリーズで行います。第2回目の今回は『看取り期の身体変化とケア』をテーマにしました。第3回目は『悲嘆へのケア』をテーマに開催する予定です。3回目からの参加もできますので、参加ご希望の方はお問合せください。

- 第3回 2月9日（土）14時～16時
白石区民センター

〔グループワークの様子は裏面をご覧ください〕

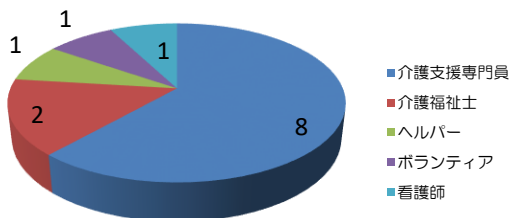
第2部-ペアワークショップ

第2部のペアワークショップの中では、末期がん患者を日頃支援する中で困っていることとして、医療者と本人・家族の方向性にズレが生じることや、家族間での意見の不一致などが挙げられていました。セミナー開始時には、末期がん患者の特徴として、辛い症状があることや状態変化による展開が早く、関われる期間も短いことから、対応が難しいと感じていた参加者が多かったものの、限られた時間を1日1日大切に生きている患者さんの輝く瞬間に寄り添えることは貴重な経験ではないかとの意見もありました。熱心に話し合いをされている姿から、戸惑いを感じながらも患者さんの大切にしている心情や希望に添う支援をしたいと感じている参加者の皆さんの暖かい思いが感じられました。

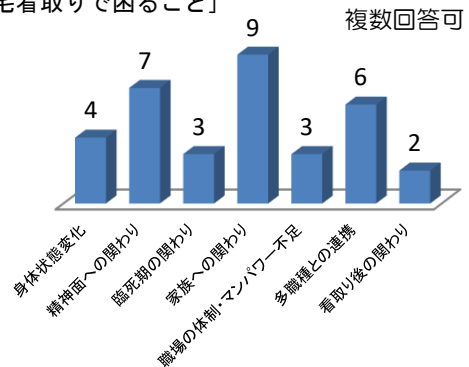


参加者アンケートから(抜粋)

[参加者の職種]



[在宅看取りで困ること]



[感想と今後の要望 (一部掲載)]

- ・ 自宅で亡くなるまでの身体の変化を知った上で家族・本人に関われると、こちらの不安が少なくなる。(こっただって解らないよ!の気持ちではとても負担・ストレスが多い) と思いました。疼痛緩和の実際を物も見ながら知れる機会があると嬉しい。
- ・ “喪失”のところでは、今の自分に何が大切か、気付きがありました。わかりやすく盛りだくさんで良かったです。

賛助会員を募集しています

「ホスピスのこころ」をキーワードに、研究活動、講演活動や教育・研修活動等々、いろいろな活動をしていきます。志を同じくする方、趣旨にご賛同いただける方、お気軽にお問い合わせください。

年会費

個人賛助会員 1口 1,000 円

団体賛助会員 1口 10,000 円

お問い合わせは・・・NPO法人ホスピスのこころ研究所 事務局 担当 下澤・岩田・中島・小島まで

NEWS
LETTER

発行日
編集発行

2018年12月28日

NPO法人ホスピスのこころ研究所事務局

〒004-0801 札幌市清田区里塚1条2丁目20-1札幌南徳洲会病院内

TEL 011-803-4254 FAX 011-883-0642

メール info@hospice-kokoro.com